

- ・「武生国際音楽祭推進会議」では、ボランティア団体の会費(年間5,000円)を設定している。これは事務局の運営経費で、音楽祭の会計とは分けて経費処理されている。

● ボランティア・コーディネーター

ボランティア参加者と劇場・ホール側のスタッフをつなぐ、あるいはボランティア内部の調整をするボランティア・コーディネーターの状況は下記のとおりである。

- ・「舞台研究会うらかた(喜多方プラザ文化センター)」では、舞台、音響、照明業務がおのおの部門別になっており、各部の部長が部内のとりまとめ役になっている。ホール側には技術スタッフが3名おり、彼らがウラ方業務の調整を行う。
- ・「いまだて芸術館」、「たんば田園交響ホール」および「春日市ふれあい文化センター」では、いずれもホール側の担当者がボランティアを取りまとめており、その担当者がボランティア運営のキーパーソンになっている。ただし、「いまだて」では企画プロデューサーが当該企画を実際に運営するところまでの責任者に位置づけられており、「春日市」では“キャプテン”と呼ばれている人がボランティア間の連絡調整を行っている。
- ・「能登演劇堂振興協会」は、事務局を町の文化振興課担当者が兼務するかたちになっている。協会の会長は、10年以上前に無名塾との個人的なつながりを持っていて、演劇堂建設のため中心的な役割を果たした人物で、現在も主体的に関与している。
- ・「武生国際音楽祭推進会議」では、事務局が武生市文化センター内に設置されているが、専従スタッフはいない。事務局長がとりまとめ役になっている。専任事務局員を雇ったこともあるが、常駐スタッフがセンターにいと、従来ボランティアで行ってきた仕事をその人に依存してしまうようになり、結局はうまく機能しなかった。
- ・いわゆる“ボランティア・コーディネーター”が専従のスタッフとして置かれているのは、調査事例のなかでは「大阪府立青少年会館・プラネット・ステーション」のみである。高校生・大学生中心の「いべんとスタッフ」の活動は夕方以降が主になるのに対し、府立青少年会館職員の勤務時間は必ずしもそうでないことなどから、双方のコミュニケーションを密にするために“制作チーフ”という肩書きでコーディネーターを置き、効果的に機能している。

④ ボランティアの業務の内容

次にボランティアの業務内容をみると、図表 I -10のように、企画制作から事務補助まで多様な内容になっており、ホール・劇場で行われている業務のほぼ全般にわたってボランティアが関わっていることがわかる。また、181名の回答者による複数回答が計397件となっていることから、一人のボランティアが平均して二種類

I. 公共ホール・劇場におけるボランティアの導入状況と実態

以上の業務に携わっている状況も見て取れる。

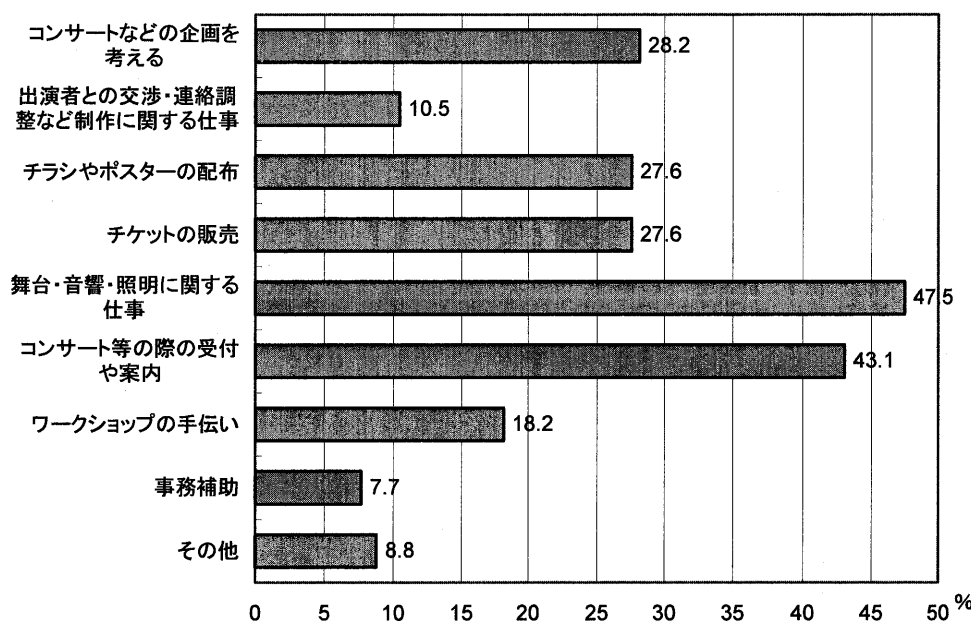
また、次頁図表 I-11 でみられるように、ボランティアの対象事業や業務内容は個々の施設ごとにまちまちで、施設の運営状況に見合った形でボランティアが導入されていることがわかる。図表 I-11 の横軸は、左方向が「公演の運営サポート」（オモテ方、ウラ方など）で、右方向に行くにしたがって企画・制作から広報、資金調達などの内容が多くなる。また、縦軸はボランティア活動の対象として下方方向に行くほど、地元（アマチュア）文化団体の公演活動に対するサポート的性格が強く、上方方向に行くにしたがって、館の主催する（プロ）芸術団体の公演事業に対するサポート・運営的要素が強くなることをあらわしている。

以下、これらの業務内容を、劇場・ホールとの関係で見てみることにする。

● 運営サポート型

- ・「事務補助」や「ワークショップの手伝い」、あるいは「コンサート等の際の受付や案内」など、劇場・ホール側の業務を補助・補填する形でのサービスを提供するもので、館側の人手不足・予算不足を補う意味で重要な役割を果たしている。特に、「コンサート等の際の受付や案内」いわゆる「オモテ方」の業務には43.1%が携わっており、ボランティアへの依存度が高いことを示している。
- ・また、舞台・音響・照明などの「ウラ方」業務に携わるボランティアも、47.5%と高い数字を示しており、劇場・ホール運営における重要な位置を占めていることがわかる。特に「ウラ方」業務には専門的な知識や経験が必要とされ、館側の人手不足・予算不足を補うという意味では運営サポート型ではあるが、特に専門的知識を要するという意味では、専門技術提供型とも言えよう。

■ 図表 I-10 ボランティアの業務内容



■ 図表 I-11 ボランティア活動の対象事業と業務内容

凡例	喜多方プラザ文化センター
<p style="text-align: center;">縦軸：ボランティアの対象事業</p> <p>館の主催する(プロの)芸術団体の公演事業に対するサポート・運営</p> <p style="text-align: center;">自主事業(招聘事業)</p> <p style="text-align: center;">公演の運営(オモテ・ウラ)</p> <p style="text-align: center;">企画・制作(広報)</p> <p style="text-align: center;">地元文化団体の活動</p> <p>地元(アマチュアの)文化団体の公演活動に対するサポート</p> <p style="text-align: center;">横軸：ボランティアの業務内容</p> <p>企画・制作や広報、あるいは資金調達等におけるボランティア活動</p> <p>公演当日の舞台・音響・照明、もぎり・客席案内等におけるボランティア活動</p>	<p style="text-align: center;">自主事業(招聘事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あぐだもぐだ ● 音を楽しむ会 ● 演劇鑑賞会 <p style="text-align: center;">公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p style="text-align: center;">企画・制作(広報)</p> <p style="text-align: center;">● 舞台研究会 うらかた</p> <p style="text-align: center;">地元文化団体の活動</p> <p>ウラ方に特化したボランティアとしては草分け的存在。複数のジャンルの市民鑑賞団体も組織され企画面で協力している。</p>
いまだて芸術館	大阪府立青少年会館・プラネットステーション
<p style="text-align: center;">自主事業(招聘事業)</p> <p style="text-align: center;">公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p style="text-align: center;">企画・制作(広報)</p> <p style="text-align: center;">● AEアシスタント・エンジニア</p> <p style="text-align: center;">● 企画プロデューサー委嘱システム</p> <p style="text-align: center;">地元文化団体の活動</p> <p>企画プロデューサー委嘱システムにより、館の運営全体に幅広い市民参加の方法を採用。技術スタッフのアシスタントもボランティアが担う。</p>	<p style="text-align: center;">自主事業(招聘事業)</p> <p style="text-align: center;">公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p style="text-align: center;">企画・制作(広報)</p> <p style="text-align: center;">● イベントすたっふ (チーフすたっふ)</p> <p style="text-align: center;">地元文化団体の活動</p> <p>青少年の健全育成という観点から、館の自主事業として青少年の企画を採用し、企画から運営までを若者のボランティアで行う。</p>

I. 公共ホール・劇場におけるボランティアの導入状況と実態

中島町文化センター・能登演劇堂	武生市文化センター／武生国際音楽祭
<p>自主事業(招聘事業)</p> <p>・能登演劇堂友の会 ・資金調達</p> <p>●能登演劇堂振興協会</p> <p>企画・制作(広報)</p> <p>公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p>地元文化団体の活動</p> <p>「無名塾」との密接な関係をベースに、市民主導で劇場を設置、その自主事業の企画、広報、協賛金調達を担う。オモテ・ウラは別途ボランティア対応。</p>	<p>自主事業(招聘事業)</p> <p>・資金調達</p> <p>●武生国際音楽祭推進会議</p> <p>企画・制作(広報)</p> <p>公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p>地元文化団体の活動</p> <p>市民主導で組織された任意団体が、国際音楽祭の企画から運営までを行うほか、理事会が資金調達と協賛によって事業収支の責任も持つ。</p>
たんば田園交響ホール	春日市ふれあい文化センター
<p>自主事業(招聘事業)</p> <p>●レディース21</p> <p>●ステージ・オペレータークラブ ●レディースI</p> <p>企画・制作(広報)</p> <p>公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p>地元文化団体の活動</p> <p>舞台・照明・音響のウラ方、客席案内等のオモテ方、女性の企画集団など、それぞれ役割を特化した複数のボランティア制度を導入。</p>	<p>自主事業(招聘事業)</p> <p>・公演サポート</p> <p>・企画協力</p> <p>●K's Crew</p> <p>企画・制作(広報)</p> <p>公演運営(オモテ・ウラ)</p> <p>地元文化団体の活動</p> <p>若者のボランティアグループを組織し、公演のサポート業務と企画制作業務の両方を別々の業務として実施している。</p>

・この「ウラ方」業務をボランティアが担うのは、地元芸術団体に対する貸館事業のみの場合と、プロの公演にも対応する場合とがあり、現状では前者のほうが主流である。いまだて芸術館の「AEスタッフ」やたんば田園交響ホール「ステージオペレータークラブ」は館の自主事業と貸館事業の双方に対応している*3。

● 企画・制作型

- ・「コンサートなどの企画を考える」(28.2%)、「出演者との交渉・連絡調整など制作に関する仕事」(10.5%)あるいは「チラシやポスターの配布」(27.6%)など、いわゆる“企画・制作”に関わる業務に携わっているボランティア参加者も3割近く見られる。
- ・美術館ボランティア*4では、事業の企画にまでボランティアが関与している例はほとんど見られず、劇場・ホール系ボランティアに特徴的な現象である。
- ・業務の具体的な内容については、「武生国際音楽祭推進会議」のようにプロの芸術家や芸術団体を招聘しているものから、「いまだて芸術館」の「企画プロデューサー」、「大阪府立青少年会館／プラネット・ステーション」の「いべんとスタッフ」のように、市民から提案された「企画」をボランティアで実現させる、主に地元(アマチュア)文化団体を対象にしたものまで幅広い。
- ・住民参加のニーズにあった企画を積極的に推進しているという見方ができる一方で、限られた自主事業費で実現可能な企画を市民のアイデアに依存しているという考え方もできる。

● 財政サポート型

- ・「チケットの販売」を行うボランティアは27.6%いたが、それだけでなく、「武生国際音楽祭推進会議」や「能登演劇堂振興協会」のように、鑑賞団体としての「友の会」運営や地元の民間企業からの寄付金集め、あるいは個人的な寄付などを行っている事例も見られる。劇場・ホールの運営や事業の推進にとつての、経済的なサポートをするという意味では、米国の非営利団体における理事会*5的な存在にも類似しており、今後の可能性を探るうえでも非常に興味深い。

*3 図表 I -11 参照

*4 美術館ボランティアについては、「文化行政とボランティアに関する調査報告書 | 東京都生活文化局(1994年)」に詳しい。主な業務内容は、「監視・会場整理」、「展示品の解説」、「環境整備・清掃等」など、ここで言う運営サポート型にほぼ限定されている。

*5 米国の文化施設のほとんどは非営利団体によって運営されており、そこでの理事会の役割は「組織の存続の確保、全体の方向性・ポリシーの策定、有給スタッフの雇用」など。また「組織サービスの受益者、資金提供者、関係省庁・同業団体などさまざまな外部関係者との接点であると同時に、内部においては有給スタッフを統括する組織の責任者」。前掲の「文化行政とボランティアに関する調査報告書」P. 62に詳しい。